

常藝文藝

初秋

飯村 閑舟

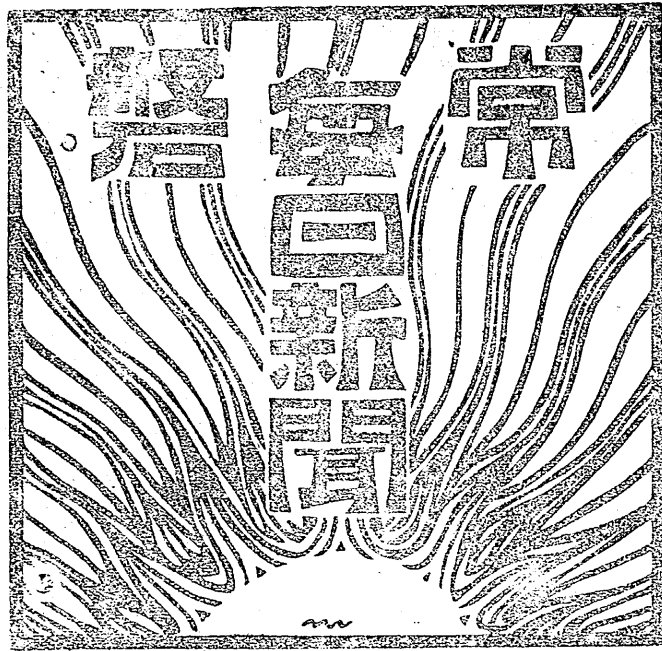
朝夕涼味の風風ぎ斐ふ
作日の喘ぐ眞夏日の
時化は早魁の全裡を切る
俄雨の續く憂ひの頃日
軒雨なからん憂愁の睡
白雲塗りの空に仰ぎつ
洪水の言間耳障なく
去蹴や祈らん郷民の百姓

ざくろ

我家の前
黒屏の内棚より葡ふ
冠蒼の板縁に
鈴生りに垂れる
ざくろの實りは
酢味の齏み食ふ
滑稽の容顔の人々を
待ち憩ひて
素向けるが如く。見てゐる

北郷保守

儀昨廿七日午後
五時死去仕り候
係生前辱知諸彦
へ御通知に代へ
謹告仕り候
追而告別式の儀は
明廿九日午後二時
自宅に於て相營申
候
八月廿八日
男
親戚總代山田保新
友入總代清水廣政
鈴木堅助



発行所 川崎文治
印刷所 常藝文藝社
編集所 常藝文藝社

刊夕日八十二月八

開業披露

喜樂團子 皿十五錢
喜樂すし 井三十錢
散甘五錢
出前は遠近に不拘
早速お届けします
女給募集す
平館前 喜樂
電話呼出器交換

開設
御料理 大村や
郡役所横通

旅館 大村屋
平町二丁目
電話一七五番

洋食は 向上軒

平停車場新道通り
電話(五二三番)

建築ペンキ塗
美術諸看板
硝子金銀文字
其他各種

大音堂
平町四丁目

金の融福

平信用組合が庶民階級の銀行として責務を果す爲めに
如何に有利にして便益の多い組合であるかは是非一度御問合せを願ひ度いと思ひます(申込次第説明書進呈)

責任有限
平信用組合
蔵久谷大長合組
助之信目馬記書
番九一話電目三町平



レコード
(定價表)
.....80
.....90
.....1.20
.....1.20
.....1.20
.....1.20
(以上景品呈上)

ツバメ印レコード
ツバメ印レコード
ツバメ印レコード
ツバメ印レコード
ツバメ印レコード
ツバメ印レコード
ツバメ印レコード
ツバメ印レコード
ツバメ印レコード
ツバメ印レコード

常盤時計店
平町一丁目電話三三九番

營業種目

味付落糖
金米糖
寶來豆
有糖豆
平糖豆
五平糖豆
都色豆
全糖豆
斤賣糖各

新らたに菓子工場を經營して皆様方の御家處にお安く提供する事となり
ました何卒最負の程を
久野製菓販賣部
福島縣平町一丁目
電話一五〇番
工場 平町長橋町六十一番地

入院隨意

内小兒科
皮膚科
花柳病科

平町城山(舊城跡)三の丸
青沼醫院
醫學士青沼淡夫
電話四〇三番

外交員募集

業務簡易月収百圓以上あり
各自宅にありて本店との連絡取れ
御希望の方は履歴書持参の上御來談
あれ外に優遇の方法あり

福島無盡株式會社
平代店
現物買株株式店

大谷保太郎商店
電話二三四番

株式買中値

左記の値段は本日の標準値
に付御用の節は御問合願候

Table with columns for bank names (e.g., 磐城銀行, 平銀行, 磐越銀行) and their corresponding stock prices.

平町田町 電話三二三番
丸登株式会社
川添房二郎

寄書

中山雅司

世に参考と言ふ言葉がある、これは人に模倣性のある事を證明するものだと言ひてよしと思ふ
人の振りを見て初めて自れの振を直す事は勿論の事モ
デルヤ参考品があつて立派な繪も出来、家を建てるに
しても必ず何處の家を見て來
て参考にしなければならぬ
圖は引ける筈はない一代の
文豪頼山陽でさへ日本外史
を編む時には必ず毎朝史記
列傳を讀んだと言ふ、怪傑
袁世凱も常にガルバルデー

の政略を眞似やうと苦心し
て居つたと言ふ、擬すれば
人間言行の一切萬事は先人
の言行をモデルとし土臺と
し、参考として、それに自
己の新思想や創意を加へて
改良して行く事が先ず十中
の八九を占めて居る、そこ
で奇想天外とか空前絶後と
か古今未層有など言ふ様な
事は極めて稀だと言ふ事に
なる。併し物真似、人真似
をするにも上手下手がある
下手に眞似る事は誰れでも
やる、吾人は須く上手に眞
似て眞似る人の數を成るべ
く少なくする事に、努力せ
ねばならぬ
上手に眞似るとは、原物と

比較して優るとも劣らぬや
うにすること、一見安つ
っぽい焼直して看られぬ程度
に進んで居らねばならぬ、
文章上に「換骨脱體」と言
ふ事がある、これは他の文
章を横擬して作るものである
が、骨が換り體が異つて居
るから、純然たる焼直しで
ない、随つて作者の修辭的
着想構意が讀者に新しい
響を與へる結果、原文に比
して遜色を見ないと言ふ作
法であるしかし参考を命科
玉條として居つては鵜を眞
似る鳥や、人を眞似る猿と
たいした遜庭がないから、
参考はどこまでも参考に留
めたいものである

繭價著しく騰貴し 養蠶家雀躍して喜ぶ

製糸家が買あふる 晩秋蠶に全力を傾注す

春蠶の安値と霜害が影響して石城郡下の夏蠶掃立は昨年より一割二分、普通秋蠶は五分四厘の何れも減少を豫想されたがその後春蠶繭の生産減と糸價騰貴は著しく繭價に活況を見せ各養蠶家は雀躍して晩秋蠶の増掃立を企て一氣に春蠶の損失を取り返そうとし一方製糸家側は資金の關係で糸價の安値から充分の買入を爲さず糸價の先高は目前に迫つて居るので勢ひ買ひ煽るから更に騰貴する見込であるが養蠶家はこれに依つて辛じて息をつくことが出来るであらうと

大地震なし

最近の學說

大地震の一週年九月一日が近寄るにつれ地震觀念が盛んに頭を悩まして居る上に地震が頻發するので一層神經をこらせて居り殊に震源地が石城沖との事に平地ではグラツと来る毎に膽を冷して居るが微弱震の多いのは概ね大震の憂のない兆候である云ふのが現在の學說であるから餘り心配すべきではあるまいといふ

明大野球再來

明治大學野球團は折角來平せるに拘らず連日の雨天に試合

常磐片々

天帝が旱天癩ぎを棒引きする氣が降らせる事降らせる事
好間村から平町への水量半減要求はどうか
水に流したのか音沙汰なし
雨降つて地固る、これが本當の解決だ
小地震の年に大地震のあつたためしなことの學說
成程地震も大きくなると見

震災追悼式

田町青年團が 子秋倉社頭に

平町田町青年團にては九月一日午前十一時五十八分縣社小鐵倉神社頭に於て關東大震災遭難者の追悼式を執行する由

職業紹介所

準備を急ぐ

平町の職業紹介所は目下東京職業紹介事務局に對し認可申請中であつて未だ許可の指令には接しないが多分開設豫定期の九月一日迄には許可がある筈である處から宣傳ビラ等を各處に添附する準備を急いで居る

南裡新道路

新川町地點は 土地收用法か

平町南裡新道路は工事益々進行し長橋町通りからの連結地點に着工中にて同處の貫通も間もない事であるが新川町への貫通地點地主との土地買收の價格容易に折り合へが付かず爲めに進行

識が高い

伊藤署長、石田部長の拳銃遭難に鑑み其取締りの急を説く
遅かつた

石田部長 遭難に鑑み

短銃取締厳行

伊藤平警察署長は元の部下であつた巡查部長石田吉五郎氏のビストルで狙撃された新聞記事に眼を通じながら短銃取締の取締に關して語る「一般の人の短銃や拳

上多少の支障を來したが結局土地收用法を適要する事になるであらうと

弊害のあつて 教會を取消す

石城郡内に於て神道佛敎の教會の名義のみで一人の信者も布教者もなく是れが爲め種々弊害のあるもの少くないので種々調査中の處左

櫻の古跡から 巨大なる櫻化石を發掘

長さは七尺以上に及ぶ 明治神宮に奉納

石城郡植田町江畑字江の上鷹清吉氏所有造林山田村から此程稀れに見る巨大な三個の櫻化石發見され數十人の人夫を以て植田町同氏宅に運搬したが往古は勿論古跡から同所一帶附近一對に櫻樹ありたるもの如く櫻化石發掘は珍らしからざるも今回の如き大なるは始めてにて内二個は何れも長さ七尺以上直徑二尺以上のものにて發掘の際三個に破砕せるもの如く鷹氏は明治神宮に奉獻すべく手續中

減水が早く 一安心の體

一時は非常な騒ぎを演じた昨日の出水も雨勢が減退すると同時に速やかに減水し土木上の被害を目すべきものもなく殊に平町では床上浸水は多少あつたが床上に迄は及ばずに済んだ爲め一安心の體であるしかし未だ雨が止まぬには困つたと申しますと、蟲の鳴いてゐる所が見つかつたならばほゞ提灯の上に薄く眞綿をまきてそれをさし出して、置けばよろしい、但し眞綿に蟲がたまつた際虫の肢を傷つけぬやう十分に注意して虫籠の中へおさめぬと、折角とつても、鳴かぬやうになるものです、



家庭 關

鳴く虫の取り方

これから縁日や町の中央などでよく賣つてゐる松蟲やすす蟲などを野からとつて來るにはどうしたらよいか

稲作の 被害が少い

昨日の出水

昨日の出水にて稲作は非常な被害を蒙つたかと思ひの外郡當局の語る處に依ると決して收穫期が悲觀される様な状態に迄は打撃を受けないのみならず雨量が豊富でなく早魃騒ぎの眞最中に此雨があつた事として反つて土地に依つては稲が蘇つて米の出來榮わが良からうとの事である

不平受付

自動車の泥除け 雨降り續きの道路を自動車が疾走するので盛んに泥をハヂキ飛ばしますがアレは規定に依つて泥の飛ばぬ程度に泥除けの裝置をせねばならぬと思ひますがいかがなものせうか (不平生)

小鳥の外傷

鳥が籠を逃れようともがいて怪我をしたり脚を打つたりした時には、ぬるま湯に浸した布でふいて局部を清潔にしてやるとか、にはこの薬を煎じてその温い湯の中へひたして温めてやると不思議になほる

募集 文藝其他一般投稿を募集します

を下ることなく現在の巨費は株式の募集上中々困難ならんと觀測さる

平町人事

- 出生
△白銀町 吉田光夫氏三男本平
△八幡小路 當時名古屋市關谷一氏長男博之
- 死亡
△榎垣小路 古住賢吉(二七)
△胡摩澤 小島太助(三三)
△古殿治町 大野〇四郎(六〇)
△材木町 當時東京府北豐島郡三波町 綠川スサ(二七)

實現が至難

片濱軌道は 經費が超過し

石城郡江名町から豊間、高久、飯野を経て平町に至る片濱軌道は曩に甘萬圓の株式組織とし高久村鈴木喜郎氏を始め關係町村有力家發起となり其筋に設敷認可申請中のことは既報した如く

北郷醫師逝去

平町字白銀町北郷保守氏は昨日午後四時頃腦溢血にて逝去